

綴方教室（1938）

メディア 映画
ジャンル ドラマ 青春
製作国 日本
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1938/08/21
公開情報 東宝

【解説】
小学生だった豊田正子の作文をまとめた同名文集を、木村千依男が脚色し山本嘉次郎がメガホンを取り映画化。原作は1930年代の日本を少女の目線で描いた記録文学であり、山本はそれをドキュメンタリータッチで映像化し成功した。主役を務める子役時代の高峰秀子のメインも見どころ。黒澤明が製作主任として名を連ねる。
小学六年生の正子は、両親とともに長屋に暮らしていた。生活は貧しかったが、正子は綴方（作文）が得意であり、学校の先生も熱心に指導してくれていた。ある日、彼女の綴方が雑誌「赤い鳥」に掲載される。正子は喜ぶが、父に仕事をくれる人の家庭について書いた内容であり、それが原因で父は仕事を失いかけてしまう。生活はますます貧しくなる一方だったが、正子は強く明るく綴方を書き続けるのだった。

【クレジット】
演出 山本嘉次郎
製作 森田信義
原作 豊田正子
脚色 木村千依男
撮影 三村明
編集 岩下広一
音楽 太田忠
製作主任 黒澤明 Akira Kurosawa
録音 安恵重遠
出演 高峰秀子 正子
小高まさる 稔
水谷史郎 光男
徳川夢声 父由五郎
清川虹子 母お雪
滝沢修 大木先生
赤木蘭子 先生の奥さん
三島雅夫 丹野さん
本間敦子 おばさん
音羽久米子 後妻
山形天洋 梅本さん
伊藤智子 おばさん